

わ ち だ

株式会社 西村交益社
やまぶきカード会員情報誌

Vol.09



2021
SPRING
SUMMER



つるぎ会館でのお葬儀・法要が会員価格で！
但馬内50店舗のお店でお買い物がお得に！
QRコードから簡単にご登録できます。

お申し込みフォームはこちら



登録
無料

やまぶきカード
会員募集

つるぎ会館

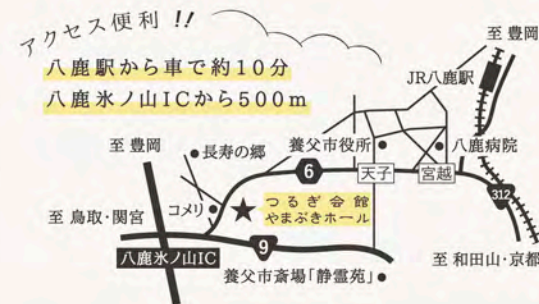
株式会社 西村交益社

ホールのご予約・お問い合わせは

☎ 0120-62-5909 [つるぎ会館]

〒667-0044 兵庫県養父市八鹿町国木133-1

www.koekisha.info



スタッフ募集

パート・アルバイト 週1日1時間から
正社員も同時募集中！ まずは上記までお電話ください。(担当/岡本)

インフォメーション

協力店ショップガイド

おしえて！戌亥先生

音楽室だより／中嶋由紀

花とブルース／伊藤雄大

ブラジル滞在記／密祐快

海へ山へ

自然浴

「わだち」に込めた思い

つるぎ会館（株）西村交益社

ある日、会館を訪ねて来られたご夫婦。
「自分達の葬儀の事を相談しておきたい」との事でした。
ご主人が困難な病気と闘っておられる事、二人の娘さんは、
それぞれ嫁がれて、遠くにお住まいであること・・・など、
ご事情をお聞きしてから
プランの内容や式の流れ、費用など提案しました。
話が終わり、コーヒーをお出しすると、
「よしっ、これで終(しま)いは、決めた。あとはこれからどう精一杯生きるか。
コーヒーが特別美味しく感じるわ。」とおっしゃいました。
そのことがずっと胸の奥にあり、当社にその「これからの人生」を
少しでもサポートできる事がないかとの思いから、会員カードを作ったのです。
まだまだ発展途上ではありますが、もっとお得で便利なカードにしていきたいと
思っております。

「わだち」は、車の通ったあとに残る車輪の跡の事です。
古代ローマ遺跡を旅した時、何千年も昔の馬車の跡がくっきりと残っていました。
会員の皆様が歩いてこられた、尊い人生がそこに重なるように思います。
会員情報誌の名前を「わだち」にしたのはその思いがあったからです。
「今日という日は、残りの人生の第一日目である」
私達のこの「わだち」が少しでもお役にたてることを願って。

自然浴



長く厳しい冬を越え、春を迎えた但馬地方は今
緑のグラデーションが美しい。

一度森へ入れば、水の音、虫の声、木々の匂い……。

贅沢がこんな近くにあるなんて。

ここは兵庫県養父市にある「不動滝」。

車を降り、歩いてたった5分でたどり着く。

春、気分は浮かれている。



SUP体験も始まり、さらに注目を集めている。

5年前には、メリ直営のお宿「海の音」もオープン。どの部屋から竹野浜が一望でき、波の音を聴きながら但馬の食材をふんだんに使った地元料理が楽しめると評判だ。

さらに、宿では国民的美魔女コンテストでファイナリストになった奥さんの裕紀さんが、女性に嬉しいサービスを展開。シャムプーバーや高級ドライヤーなど女性が喜ぶアイテムを揃え、食事にはコラーゲンたっぷりの鍋を食べられたりと、楽しみが尽きない。

海の家と宿の連携もとって、悪天候でカヌーなどの体験ができなかった時には、宿でシーグラスのワークショップやヨガやピラティスなどができる。室内の体験も充実させて、どんな状況でもお客さまに竹野を楽しんでもらおうと日々奮闘中だ。

今シーズンは海の家メリ&海の音で竹野を是非満喫したい！

海の家 メリ 〈カヌー・カヤック〉

◎ 4~10月 9:00~17:00

TEL.090-3355-4047

兵庫県豊岡市竹野町切浜1048

海の音 UMINONE 〈お宿〉

TEL.0796-43-6888

兵庫県豊岡市竹野町竹野3396-1

カード
優待特典

カヌー・BBQ・宿泊 10%引き

今シーズンのご予約
絶賛受付中!!

t-motherearth.com/meri/



豊岡市竹野町

海の家 メリ

見渡す限り透き通った海。開放感あふれる切浜で、ジオカヌーやシュノーケル、最近流行りのSUPなどが体験できる注目の場所がある。竹野の海が大好きな宮崎さんご夫妻が運営している「海の家メリ」だ。海水浴や宿泊だけではなく、いろんな竹野を楽しんでもらいたいと、約10年前に始めた。

竹野浜を含む山陰海岸は、日本で9カ所しかないユネスコ世界ジオパークに認定されている。メリでは、その自然を海から楽しもうと、ジオパークをカヌーで冒険する「ジオカヌー」を目玉にしている。中でも、メリの特徴は絶景ポイントまでの距離が近いこと。キラキラ光る日本海版の青の洞窟「清瀧洞門」や、鬼伝説の「淀の洞門」、県指定文化財の「はさかり岩」などを見に行けるコースがある。カヌーの種類も初心者向きで、年齢制限なく誰でも簡単に乗れるのもいいところ。78歳のシニアも体験できたんだとか。3歳から参加できるカヌー体験やファミリーツアーなども用意。数年前からは、兵庫の日本海では初の、ボードの上に立ってパドルを漕ぐ

山へ



養父市大屋町
懐 ころの里

小鳥のさえずりが方々から聴こえる山の中。養父市大屋町の一番奥の集落に1日1組限定の古民家宿「ころの里 懐(かい)」はある。約150年前の養蚕農家の家を改修した宿には、囲炉裏や五右衛門風呂があり、まるで昔にタイムスリップしたような懐かしい気持ちになる。

宿をしているのは、30年前に神戸から移住してきた飯野一生さん、愛子さん夫妻。約5年前から、2人のぼんやりとした夢だった宿を自宅で始めた。

懐の人氣は創作薬膳料理。数年前に大病を患った一生さんのために、愛子さんが薬膳料理の勉強を始めたのがきっかけで、病気を持っている人や食事制限のある人でも気軽に泊まれる宿、体にいい宿をすることにした。

食材は、地元産で常に旬のものを調達。毎日少しずつ料理をマイナーチェンジしている。味噌に始まり、こんにゃくや豆腐、薬膳パンなど愛子さんの手作り料理はお客さまから好評だ。事前に食事の相談に丁寧に乗ってくれるので、信頼も厚い。最近では料理だけでなく、有機野菜まで家の前の畑で作り始めたという。

薪で沸かした五右衛門風呂でほっこりするのも懐での楽しみのひとつ。但馬唯一の職人さんが作った五右衛門風呂はまるで昔の映画に出てきそう。2種類の生薬風呂で体の芯から癒される。

「推しが無いのがうちの推し」と飯野さんが話すように、懐には山体験とかそういうのではない。人通りも車通りもない静かな場所、迫る山々、透明感抜群の川、澄んだ空気に身を置く。前の川で水浴びしたり、散歩したり、ぼーっとしたり。都会の喧騒を忘れてゆっくりとした時間を過ごす。3世代で来る方も多く、自然とおじいちゃんが昔話を始めて話の主役になるなんてこともあるそうだ。

大切にしていることは「来てくれた方に全力を注ぐこと」。その居心地の良さがやみつきになり、リピーターになる人が多いという。

宿の前の紅葉が色付いた頃に、私も家族と訪れたい。



懐(かい) ころの里 <お宿>

1日1組限定のお宿。
薪で沸かす五右衛門風呂、
囲炉裏を囲んで楽しむ創作薬膳料理。

TEL.079-669-1678
兵庫県養父市大屋町若杉547-3

カード
優待特典 ご宿泊料金5%引き

※現金でのお支払いに限ります

<http://k-kai.net>



ブラジル滞在記

ベルチオーガの思い出 1

夏のある日曜日、お寺の行事が終了した時に日系人僧侶の爺様が「明日は月曜日だから海でも行ってみないか」って言う。「こんな暑い時に海ですか・・・」って答えると、「暑いから良いのさ。浜辺に水着の娘たちがわんさかいるぞ。それを眺めながらビールを飲むと旨いぞ」って笑う。「それはいいなあ」ってつい言ってしまった。

翌朝のお勤めが終わって、その日は雨が降って涼しい朝だったが、色気づいた三人の爺様達と一緒に海辺の町ベルチオーガへの遠足となった。もちろん誰も泳ぐつもりはないから水着など持っていない。大西洋に近づくと山越えの道になる。太古の時代に大陸が形成される時にそうだったのか。南米を縦に

食べれるか」と爺様。小ぶりだが牡蠣だった。「もちろん」と答えた。ブラジルに来て初めての牡蠣だった。それも生牡蠣で、小さく砕いた氷が上にのせてあり、大皿の縁を飾るようにカットしたレモンが添えてある。爺様の一人がレモン汁を満遍なくかけて、「さあ、どうぞ」と薦めてくれた。「いただきます」と答えて口に入れた。久しぶりの生牡蠣の味、美味しい。大西洋の海を眺めながらのビールと牡蠣。最高の遠足だ。相変わらずバカ話をしながら四人で二皿をたいたげた。

夕方お寺に帰着するまで小雨はずっと降り続いた。そしてその夜、突然に腹痛と下痢が始まった。十分毎にトイレに通い、朝になっても下痢は止まらない。日本から持参した正露丸を飲むが効果が無い。体調が悪いからと朝のお勤めは欠席して朝食も食べずに自室に籠ってトイレ通いが続く。こんな日が続いた四日目。さすがに我慢できなくなってお寺の受付嬢に「何か下痢止めの薬がないかなあ」と尋ねると「だから言ったでしょ。ここはブラジルなんだから日本の薬よりブラ

繋ぐアンデス山脈もそれだろう。ここはそれほど高い山ではないが山を越すと海が見えてきた。ベルチオーガの町の中心を過ぎると浜辺に出た。目指すは浜茶屋。そこで待っているのは冷えたビール。ところが雨は止まず、風も強くて肌寒い。日系人がやっている浜茶屋に席を確保したが浜辺に人はいない。ピキニの娘どころか犬も歩いていない。「誰もいないじゃないか」と不満を言うと、「そうか、今日は月曜日だったなあ、昨日だったらわんさかいただろうな」って爺様は笑う。「まあ、今日はビールでも飲んでゆっくりしようや」の一言。

しばらくして爺様が頼んでいたビールのツمامミがテーブルに運ばれてきた。「牡蠣はジルの薬を飲みなさいって」。呆れた顔で赤と黄色に色付けされた毒々しい色のカプセル薬を一つ取り出し、コップに水を注いで「早く飲んで」と偉そうに言う。言われるままに飲んでみた。ところがカプセル薬を飲んだものの、一時間経っても下痢は止まらない。ところが、二時間経過後、変化が起きた。あれほどトイレ通いしていたのに回数が減ってきた。その日の夕食の頃になると久しぶりにお粥が美味しく感じる。私にとっては重篤な危機を脱した喜びで、帰宅の準備をしていた受付嬢達にお礼を言うと、「ハイハイ、良かったですねえ」と笑いながら帰っていった。

ところがです。翌日から再び重篤な危機が襲ってきた。下痢が止まって三日も四日も経つのに今度はウンコが出なくなりました。あまりにも腹が張って苦しいので受付に行つて状況を話して、「ブラジルの薬がほしい」と言うと、二人の受付嬢はのけ反って大笑いしながら、「だったら、もう一度ベルチオーガに行つて牡蠣を食べてきたら」って・・・。三年間の滞在中にはこんな日もありました。



高野山真言宗高照寺

花の寺の「花説法」は有名で、毎年訪れるファンも多い。
兵庫県養父市八鹿町高柳1156 tel.079-662-2865



高野山真言宗高照寺(花の寺)名誉住職

密祐快(みつゆうかい)

青年時代に中南米を放浪。放浪中の2年間、グアテマラのインディオ達と暮らす。帰国後、僧侶として、又現代美術作家として各地で活動。高野山の命を受け、南米開教区総監としてブラジルに赴任し、3年間の任務を終え、帰国。

花とブルース

「バオバブとおやし」



セネガルを調査中にバオバブの木と遭遇した植物学者のミシェル・アダンソンは「悪魔が巨木を引き抜いて逆さまに突っ込んだような姿」を見て、「こんなものは地球のどこにもない」と驚いたそう。サン・テグジュペリの『星の王子さま』にも準主役級のポジションで登場するので、ピンと来ない方はその姿をぜひ見てほしい。サン・テグジュペリもアダンソンも禍々しいたどえをしているが、見方を変えると「寸胴鍋に無数の手足が生えた妖怪」みたいで、意外とかわいかったりする。

じつは、わが町、大阪府能勢町にも「能勢のバオバブ」こと「台場(だいは)クヌギ」がある。丸々と太った幹(台場)から、びゅんびゅんと細い枝が伸びているような変な樹形の木だ。セネガルのバオバブよりもやや下っ腹が出ており、山仕事の古者たちは「オヤジ」と呼ぶそう。

バオバブの太い幹は、雨量の少ないサバンナの厳しい乾燥に耐えられるよう進化した遺伝子の賜物だ。太い幹にはタンクのような機能があり、雨季に吸収した水分や栄養を幹に蓄えておき、ほとんど雨が降らないサバンナの乾季を耐え忍ぶことができる。

一方、「能勢のバオバブ」こと「台場クヌギ」の太い幹は、能勢で暮らす人間の仕事の痕跡である。台場クヌギといった名前がついてはいるもの、もともとはそのへんの山に生えているごく普通のクヌギ。放っておけば、ブナやコナラなどの雑木と同じように高さ20mのすらっとした大木になる。それを地上から1mほどでぶった切り、3〜4年養生し、また同じところで切り戻す、ということは何十年と繰り返すことで、腹だけが太ったような、独特の姿になったクヌギが「台場クヌギ」なのだ。ちなみに、最近では鹿に新芽を食べられるのを避けるため、1.3mとやや高めに切り戻すことがトレンドになっている。

切り出したクヌギの原木は、シイタケのホダ木にするほか、おそらくその半分くらいが古くから能勢町の特産品である「菊炭」になる。断面の放射線状模様が菊の花のよう美しく、燃え加減もちょうどいいため、千利休の時代から茶席の湯炭として使われてきた、伝統的な炭。菊炭の焼き手は、能勢町ではたったの一軒、小谷さんちだけになってしまったが、冬のアルバイト先として若手農家が、あるいは定年後の仕事先として森林組合退職組が働いていたりして、昔とはまた違った形で仕事が引き継がれている。スギやヒノキなどの針葉樹林が文字通り「無用の長物」として荒れ果てていくなか、クヌギ山だけは人が活発に出入りし、「ほとんど取り合い」だそう。

もしいつかこうした産業がなくなってしまう、人がクヌギ山に入らなくなると、台場クヌギの下っ腹は痩せ細り、ガリガリの、背の高い「オヤジ」になってしまうだろう。里山が荒れると、山の町は荒れていく。能勢の山の斜面に並ぶ「太っ腹のオヤジ」たちは、能勢の里山が健全に守られているバロメーターなのかもしれない。古者たちが呼ぶ「オヤジ」というのは、単なる見た目のことだけではなく、きつと畏敬の念も込められている。

伊藤 雄大 (いとう ゆうだい)

1985年生まれ。大阪府能勢町在住。東京での農業系出版社勤務をへて、能勢町で植木屋に就職。現在は、農業・農家取材・植木屋の3足の草鞋で生きている。
instagram@yudai_itou



音楽室だより



©Ryuichi FUJIKI

「深夜東京の6畳半夢を見てた」という歌い出しで人気の曲「春を告げる」。YouTubeで若者達に流行った随分後になってからテレビのニュース番組で取り上げられていたけれど、小6と中2の子供達がいる我が家にとっては既にちょっと懐かしい曲。70代の母が「4畳半でなくなぜ6畳半なのか」と鋭くツッコミを入れていたのも既に過去。我が家の歌好き少年は次から次に新しい曲をせっせと歌っています。

さて。子供達が聴いている歌を横から聴いて、いつも最初について質問してしまうのは、これは誰の曲？ではなく「これは人間の歌？機械の歌？」。最初に質問した時はポカンとしていた彼等も、最近では「あ、これは人間」とか「これはボカロ」と教えてくれます。そもそもボカロってご存知ですか？正式名称ボーカロイド。早い話、人工的に作られた声のことです。その人工的に作られた声の中で駆使して楽曲を発表する人をボカロPと呼ぶそうで（先程初めて知りました）、ボカロPが作った曲がYouTubeで配信されて若者達に

いち早く届いているようです。私自身よくわかっていないので全て伝聞調。どんな難しい歌でもどんな高い声でもすいすい歌える。どんどん複雑な、だけど不思議に同じ印象の曲が増えてきているように感じます。

最近高齢者に仲間入りされた仲良しのお友達とこの話題になったことがありました。彼女も同じ疑問を、つまりこれは今誰が（何が）歌っているのだろうといつも思うと。彼女曰く、これは普通に歌手の誰それが歌っているとかわかった後で改めて聴いてみても、よくわからない時があるそうです。それって人間の声が逆に機械に近づいて、もしくは電子的な音に合う声に進化しているんだらうか、と。思わずうーむとなってしまうました。確かに。

みんな歌はすごく上手くなったし、今の子供達のリズム感なんて我々の頃と比べ物にならない位よいけれど、同時に何かを手放しているのかもしれないなあと思ったりもして。いいの、悪いのかももちろんわかりませんが、誰にも。

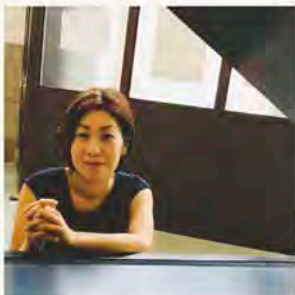
年配の方はビートルズを聴いたら不良と言われ、私が若い頃（ああ、この台詞つたら）は小室哲哉さんが全盛期で、安室ちゃんやRobeや、なんやこれよくわからない忙しい曲やなと言われて、そうやって時代と音楽は

どんどん変わっていくんでしょうけれど。あの頃はまだ人が歌っていたな。

言葉がいつぱい詰まって歌詞がすごく長くなったのもその頃からでしょうね。日本語は一つの音に一つの言葉しかつけられないから、楽譜もすごく細かいです。タカタカタカタカタカタカタカ〜こんな感じ。昔の歌の歌詞は短くて、楽譜もシンプル。たーたーたーたーたー。勝手な私のイメージですけど。

昔モーツァルトのピアノ曲を弾いていたら、それじゃ車のテンポだよ速すぎる、昔の人は馬車で移動してたんだから、と言われたことがありました。時代によって、生きている人の生活のテンポ感がまるで違うんですよ。改めて考えると当然の変化なのかもしれない。ただ、今の子供達が大人になった時、流行っている曲のサイクルが早すぎて懐かしく思い出せる曲があるのか、こっそり心配しています。意外に学校で習った曲を思い出したりにして、ま、余計なお世話ですけどね。

それにしても、「最近の若い子は」なんて事を言う大人になる予定は全くなかったのに、気がつけば若い人達の音楽をさっぱり理解出来なくなっている自分に書きながら愕然とする今回のお話でした。大人がわからないくらい、子供には丁度いいってことなのかもしれないですね。



中嶋 由紀 (なかじま ゆき)

ピアニスト。豊岡市在住。地域密着型ミュージシャンとして様々な活動をしている。一般社団法人ワンノート豊岡を立ち上げ、代表理事として地域のコンサートなども企画。事務所兼喫茶店でコーヒーも淹れている。

おしえて！戌亥先生



最近「手元供養」が流行りだそうですが、「縁起が悪い！」とか「法律違反では？」という人もいます。どうなのでしょう？

時代の変化とともに葬儀や供養方法も多様化しています。そのひとつが手元供養です。

具体的には、故人の遺骨や分骨、遺灰、形見などを身近に置いて、祈る供養方法。自宅供養とも呼ばれています。ミニ骨壺に入れた遺骨をリビングなどに安置し、家族で供養したり、遺灰をアクセサリーの中に納めて身に付けたり、遺骨や遺灰に残る炭素で遺骨ダイヤモンドを作製したりと、故人を身近で供養できる形にして弔う方法です。

手元供養が増えてきた背景に、核家族・地元離れの増加があります。都会に住んでいるため地元のお墓参りに行けず供養できない問題や、少子高齢化社会の拍車により、お墓の継承問題や管理・維持問題が生じてきました。

そのため、墓じまいをする人が急増。さらに、住居の欧風化からお仏壇を置かない家庭も増えています。

以前の日本では、一つの家に三世代が住んだり、兄弟姉妹が多かったりしたことから、お墓の後継者問題はなく、親族で管理・維持が可能でした。しかし、現代ではこれらが大きな問題となっており、その解決方法の一つが手元供養なのです。お墓の管理・維持費用の負担を軽減し、後継者不在のために墓じまいをしたあとも、遺骨を傍に置くため、しっかりと手元で供養できます。手元供養は、遺骨や遺灰をお墓に埋葬し、墓参りや年忌法要などを行う、従来とは異なる新しい供養であり、時代のニーズに合った供養方法とも言えるでしょう。

手元供養は違法行為ではありません。

納骨せずに自宅に置いておくことで法律に違反することはありません。お墓や遺骨については、「墓地、埋葬等に関する法律」で定められています。この法律では、埋葬すべき場所の定めはありますが、亡くなってからいつまでに納骨しなければならないという規定は記載されていません。したがって、納骨をしないからと言って罰せられることはありません。（家の庭先などに埋葬してお墓を作ると違反になります。）手元供養は埋葬と違うため、この法律に当てはまらないのです。

日本仏教の考え方によると納骨しないと成仏できないということはありません。

浄土真宗の場合は、納骨にかかわらず亡くなった直後に極楽往生します。浄土真宗以外でも七日ごとに裁きを受けて、四十九日目にはどこかの世界に転生します。したがって、納骨しないからといって成仏できない、この世に故人の霊魂がさまよい続けるといったことはありません。

手元供養のメリット



- ① 故人を身近に感じることができる
- ② お墓参りのために遠出する必要がない
- ③ 費用を最小限に抑えることができる

手元供養のデメリット



- ① 親族の同意を得にくい場合がある
- ② アクセサリーは紛失の可能性がある

手元供養の種類

- 骨壺
- ミニ仏壇
- 遺骨ジュエリー
- 遺骨ダイヤモンドなど

冠婚葬祭コンサルタント 戌亥 正三郎

関西テレビ・毎日放送でもお馴染み、業界第一線で活躍中の冠婚葬祭アドバイザー。終活セミナー、エンディングノートの講師で日本中を駆け回る超多忙な毎日。また、日本のしきたりや食育の講演も多く、全国のセレモニーホールで新人研修にもあたる八面六臂の活躍ぶり。2009年より弊社顧問。

